

障がい者千人雇用推進とふん害防止の条例を制定

清梁園や市スポーツセンターなどの指定管理者も決まる



市では、障がいがある人の雇用の場の創設や就労に向け平成23年5月から、官民協働で取組中です。その目標数値に就労者数1000

障がい者千人雇用推進条例

責務や役割を定め就労推進

0人を掲げています。障がい者千人雇用推進条例は、その目標を達成するため、市や事業主などの責務、市民の役割など基本的事項を定めたものです。すべての人に障がい者についての理解を求め、市や事業主には、障がい者が働

きやすい職場環境やバリアフリー化の整備、進んで雇用することを求めています。また、就労の推進とともに日常生活や社会生活上の支援に努めることも明記しました。

12月定例市議会が12月5日から19日までの15日間の会期で開かれ、条例の制定1議案が修正可決、補正予算や指定管理者の指定などの16議案は原案どおり可決されました。

修正可決されたのは、雇用推進の基本的事項を定める障がい者千人雇用推進条例。事業主の責務を定める項目に「災害時の避難対応」の文言を追加して可決しました。この条例の制定は、市が現在進めている障がい者千人雇用に関する取り組みの成果の表れと見られます。

飼い犬等のふん害の防止に関する条例

飼い主のマナー向上を求める



飼い犬等のふん害の防止に関する条例は、犬や猫のふん害による環境の悪化を防ぎ、きれいで住みよいま

ちにするためのものです。1月から運用され、飼い主の皆さんには、①ふんと尿の処理マナーを高める

12月定例市議会が12月5日から19日までの15日間の会期で開かれ、条例の制定1議案が修正可決、補正予算や指定管理者の指定などの16議案は原案どおり可決されました。

1億900万円増の一般会計補正予算も可決。主なものは、9月の台風12号で浸水した高梁川河川敷グラウンドに芝を張るなどの復旧に2100万円、総社西中学校の校舎増築のための附帯工事に2500万円、地域包括支援センターの業務を民間委託するための約2466万円などです。

- ②散歩するときは、ふんを処理する用具を携帯する
- ③ふんは必ず持ち帰る
- ④尿で公共の場所などを汚した場合、水で流すことな

どが求められています。③と④について違反した場合、適正に処理するよう命令されたり、違反内容を公表される場合もあります。

す。4月以降、命令に従わない場合は3万円以下の過料に処されます。問い合わせ 環境課環境係 (☎0283339)

てなしの館は総社吉備路商工会、山手福祉センターは社会福祉法人新生寿会、山手ふれあいセンター・やすらぎの家・さんあいの家・

ひだまりの家は市社会福祉協議会と議決されました。いずれも平成24年4月から5年間の指定です。



市役所玄関で放映された仙台市長からのお礼のビデオレター

仙台市長からお礼のビデオレター届く そうじゃ・宮城っ子基金に協力を 宮城県内の震災孤児を支援しています

総 社市が取り組んでいる「そうじゃ・宮城っ子基金」に対する奥山恵美子仙台市長からのお礼のビデオレターが届き、1月10日から、市役所1階ロビーと市ホームページで放映しました。

の協力をお願いします」と呼び掛けました。同基金への募金箱は市役所1階や各支所などに置いてあります。ビデオレターは約7分。奥山仙台市長は復興への道は緒に就いたばかりだし、「支援をありがたく思います。子どもたちの成長に力を注いでいく考えです。変わらぬご支援とご理解をお願いします」と感謝を述べ、被害の現状や子どもたちの様子などを、写真

を交えて話しています。そうじゃ・宮城っ子基金は、市に寄せられた東日本大震災への義援金を原資とした基金で、この震災で両親を亡くした宮城県内の中学生以下の震災孤児に対し、1人年間10万円を5年続けて支給します。平成23年末現在、宮城県内の6市5町の73人に支給しています。